

## COVID19 の感染拡大にともなう 妊産婦のメンタルヘルスに関する実態調査について

日本周産期メンタルヘルス学会では、令和 2 年 7 月に会員を対象に国内のコロナ禍における妊産婦のメンタルヘルスの実態に関する調査を行いました。多くの会員の方のご参加と貴重なご意見を頂きました。この度、取りまとめ作業を終了しましたので、その結果について公開させて頂くこととなりました。

皆様には、ホームページ上にアンケート内容の結果報告書（短縮版）を閲覧できますように掲載いたしました。なお詳細につきましては、「会員専用ページ」に掲載しておりますのでご了承ください。

本調査は、周産期メンタルヘルスの「新たな生活様式」への支援について検討することを目的としています。そこでは興味ある実態も明らかとなっておりますが、依然不明なことも多々あります。報告書では、可能な限り「皆様方の現場の声」を活かし、憶測ととれるレベルの考察は避けるように配慮して作成されています。

どうぞ一読いただき、皆様方の明日からのご活動の一助になりますことを願っております。なお本資料はガイドラインではありません。またご存じの通り、患者の背景や家族・地域の支援体制の特性なども千差万別であり、資料の内容が必ずしもその地域に適したものであるとはいえません。本資料に基づく実践のご判断、および選択した行為の結果については、本資料の利用者が責任を負うべきものと考えます。

### 作業グループ委員

佐藤昌司（大分県立病院）：グループ長、新井陽子（北里大学）、竹内 崇（東京医科歯科大学）、鈴木利人（順天堂大学）

日本周産期メンタルヘルス学会理事会